

平成 26 年の大阪経済

－消費税率引上げを乗り越える大阪経済－

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、平成 26 年の年間の経済動向を『平成 26 年の大阪経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

平成 26 年の大阪経済は、3 月までは駆け込み需要もあり堅調な回復が続いた。しかし、4 月以降には、駆け込み需要の反動減と物価上昇による実質所得の減少から消費の落ち込みがみられ、夏の天候不順の影響もあり、立ち直りが遅れた。秋以降には駆け込み需要の反動減が落ち着いてきたことと、円安による輸出額の増加や訪日外国人による消費の増加、原油価格の低下という経済環境変化の下で、大企業を中心に堅調さを増し、大阪経済は、年末に向かい回復軌道への復帰が明らかになりつつある。

【目次】

要約

第 1 章 消費税率引上げを乗り越える大阪経済

1. 国内経済は消費税率引上げの反動減から脱する
2. 大阪経済は秋以降回復軌道に戻る
3. 需要は弱い動き
4. 産業活動は底堅く推移
5. 企業活動は年末にかけて持ち直し

第 2 章 平成 26 年の経済動向

第 1 節 需要は輸出や観光など外需に支えられるも、内需は概ね弱い動き

1. 個人消費は増税により足踏み
2. 住宅投資は弱い動きで推移
3. 民間設備投資は大企業を中心に持ち直し
4. 輸出額は増加するものの、貿易赤字はやや拡大
5. 観光は外国人旅行者を中心に、需要を牽引

第 2 節 産業活動は底堅く推移

1. 生産活動は 2 年連続で増加
2. 雇用は改善傾向
3. 物価は大幅に上昇
4. 企業倒産件数は 5 年連続の減少

第 3 章 平成 26 年の企業動向

第 1 節 企業の景況感の回復は緩やか

1. 企業の業況判断は回復基調にあるもやや弱い動き
2. 営業利益は年末に持ち直す一方、資金繰りは年後半に足踏み
3. 雇用不足感が強まる

第 2 節 中小企業の業況は消費税率引上げによる落ち込みから緩やかに改善

1. 出荷・売上高及び営業利益は緩やかな回復基調
2. 受注・販売は駆け込み需要の反動減から緩やかに持ち直しへ

主要経済指標